

(資料提供)

月 日(曜日)	担当館名	電話	担当者
3月17日(木)	県立近代美術館 文化の森企画広報室	電話 088-668-1088 ファクシミリ 088-668-7198	企画交流室 森 学芸調査課 安達、吉川

所蔵作品展「徳島のコレクション 2016年度第Ⅰ期」 特集1 水墨画を楽しむ（「鑑賞シート」の紹介とともに） の開催について

1 趣旨

所蔵作品展は、当館のコレクションを紹介する展覧会です。当館コレクションの3つの柱である「20世紀の人間像」「徳島ゆかりの美術」「現代版画」の3つのコーナーと、その時々には設ける「特集」コーナーの、計4つのコーナーで所蔵作品を紹介します。また、今年度は春と秋に「拡大展示 巨匠たちの版画」（会期 4/23～6/5）と「受贈記念 泉茂」（会期 9/17～10/16）の、所蔵作品による2つの特別仕立て展覧会の開催を予定しています。

所蔵作品展「徳島のコレクション 2016年度第Ⅰ期」（会期 3/29～7/3）の特集コーナーは、「特集1 水墨画を楽しむ（「鑑賞シート」の紹介とともに）」（会期 3/29～5/15）と「特集2 新収蔵作品を中心に」（会期 5/17～7/3）の2つです。また、現代版画のコーナーは、「写真を使った現代版画」と題して、会期(3/29～7/3)を3期(5/2、6/6に展示替)に分けての紹介となります。

この資料提供では、「特集1 水墨画を楽しむ（「鑑賞シート」の紹介とともに）」の会期中(3/29～5/15)の展示内容について、ご案内します。

なお、今会期中に開会する「拡大展示 巨匠たちの版画」（会期 4/23～6/5）につきましては、別途資料提供します。

- 2 展覧会名** 所蔵作品展「徳島のコレクション 2016年度第Ⅰ期
特集1 水墨画を楽しむ（「鑑賞シート」の紹介とともに）」
- 3 会期** 平成28年3月29日(火)～5月15日(日)
- 4 会場** 徳島県立近代美術館（徳島市八万町向寺山 文化の森総合公園内）
- 5 開館時間** 午前9時30分～午後5時
- 6 休館日** 月曜日
- 7 観覧料** 一般 200円(160円)
高校生・大学生 100円(80円)
小学生・中学生 50円(40円)
※65歳以上の高齢者、および身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を提示した人とその介助者1名は無料。
※（ ）内は20名以上の団体料金です。
・小学生、中学生、高校生は、土・日・祝日、振替休日、春休み期間は、無料となります。
・大学生、一般は、祝日、振替休日は無料となります。

8 内容

【特集1 水墨画を楽しむ（「鑑賞シート」の紹介とともに）】

会期：3月29日(火)～5月15日(日)

会場：展示室1

出品点数：6点

内容：当館では、小学校の図工や中学校の美術の授業などで使えるようなカラー図版入りの教材、「鑑賞シート」を作成しています。この「鑑賞シート」のことを広く知っていただこうと、今回の特集では、鑑賞シート「墨と紙の世界」を展示のテーマとして取り上げました。シートの内容を紹介するとともに、シートに図版を掲載している当館所蔵の大栗旌侂(おおぐり しょうきん)の〈山寺夕靄(さんじゆうあい)〉や森山知己(もりやま ともき)の〈雪音(ゆきおと)〉を始めとする水墨画の作品をご覧ください。

【20世紀の人間像】

会期：3月29日(火)～5月15日(日)

会場：展示室1

出品点数：11点（作品保護のため、5/16に作品の一部展示替を行い7/3まで継続します）

内容：「20世紀の人間像」は、変革期となった明治以降の美術を、「人のかたち」を手がかりにして楽しんでいただくことができるテーマです。ここでは、所蔵作品を代表するピカソとクレーの絵画、石や金属、漆といった様々な素材による彫刻作品などを展示します。

【写真を使った現代版画1】

会期：3月29日(火)～5月1日(日)

会場：展示室1

出品点数：14点

内容：多彩な主題とスタイルを展開してきた横尾忠則(よこお ただのり)は、現代アートのスターの一人としてよく知られています。ここでは、横尾の写真のイメージを取り入れた表現に焦点を当て、グラフィック・デザイナーとして活躍した時期のポスターから、横尾が「画家宣言」をした後の時期の版画まで、写真を用いた作品をご紹介します。

【写真を使った現代版画2】

会期：5月3日(火・祝)～6月5日(日)

会場：展示室1

出品点数：13点

内容：木村秀樹(きむら ひでき)と木村光佑(きむら こうすけ)は、共に1970年代に国際的な版画展で受賞したことで世に出た作家です。木村秀樹が写真を用いるのは、作品に用いるイメージを描くことなく手に入れるためです。版画にするときにそのイメージに手を加えることで、イメージの曖昧さを特徴とした作品を作っています。一方、木村光佑は写真を日常のイメージの断片としてとらえています。それらを様々なイメージと組み合わせることによって、その時代への作者の気分を反映させています。

【徳島ゆかりの美術】

会期：3月29日(火)～5月15日(日)

会場：展示室2

出品点数：17点（作品保護のため、5/16に作品の一部展示替を行い7/3まで継続します）

内容：徳島県の美術館として、本県出身作家の作品、県外の作家による徳島の風景や風物を表した作品を、力を入れてコレクションしています。ここでは、洋画家の伊原宇三郎や山下菊二、水彩画家の三宅克己ほかの作品を紹介します。

○このほかに、美術館ロビー、屋外展示場、彫刻の小径に12点を展示します。

○展示作品の合計は、37作家による73点となる予定です。

・都合により内容が変更になる場合もあります。

9 関連事業

【テーマで知る名品 水墨画を楽しむ】

日時 : 4月24日(日) 午後2時~2時45分
場所 : 展覧会場
講師 : 学芸員
対象 : 一般
内容 : 特集コーナーの水墨画を中心に案内します
料金 : 観覧料が必要です(高校生以下は無料)
申込 : 不要

【こども鑑賞クラブ 墨仙人の巻】

日時 : 5月14日(土) 午後2時~2時45分
場所 : 展覧会場
講師 : 学芸員
対象 : 小学生(保護者同伴可)
内容 : 簡単なクイズなどをしながら鑑賞に親しみます。
料金 : 無料(同伴の保護者は観覧券が必要)
申込 : 不要

【きんびセミナー 先生のための水墨画講座(鑑賞と制作)】

日時 : 5月15日(日) 午後1時30分~4時
場所 : アトリエ、展覧会場
講師 : 山本敏子(小学校元教諭)、森芳功(学芸員)
対象 : 教員(幼・保・小・中 20名程度)
内容 : 墨の話と鑑賞シートを活用した模擬授業、墨に親しむ実習もします
料金 : 無料
申込 : 要申込(電話、FAX、メールにて)

【広報用画像の提供について】

展覧会の広報用として、次の作品の画像を提供できます。

必要な場合はご連絡ください。

提供方法は、画像データの提供となります。

使用に当たって、作者名、作品名、徳島県立近代美術館所蔵の旨は、必ず表示してください。

作者名	大栗旌斝（おおぐり しょうきん）
作品名	〈山寺夕靄〉（さんじゆうあい）
制作年	1931年
技法材料	紙本墨画着色

